

野菜の需給・価格動向レポート(平成30年6月25日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

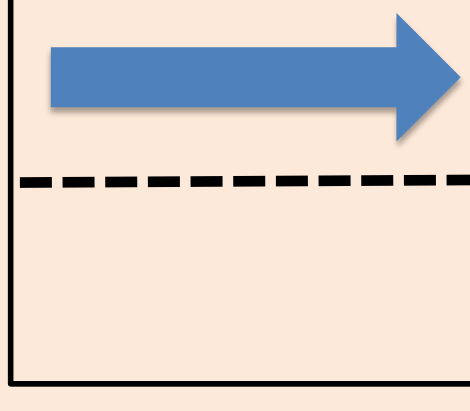
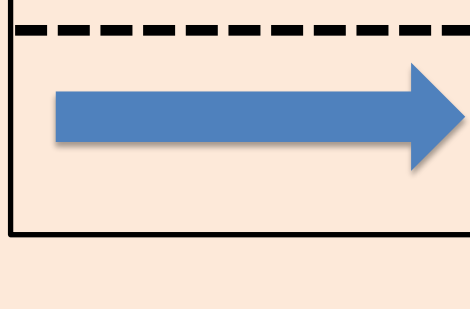
※・レポートの読み方については、注意書きを参照してください

種類	5月の価格情報		6月の価格情報			6月中旬の関東及び近畿ブロックの入荷量()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	7月の主産地	生育及び価格の7月上旬までの見通し	「図の見方」 平均価格 現時点の価格水準 現時点の価格水準 平均価格(点線)は、レポート期間中に変動する場合があります。		
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格						
		下旬		月上旬	中旬						
葉茎菜類	キャベツ	88.59	59 (67%)	67.20	55 (82%)	76 (113%)	7,968t (95%)	群馬(68)、岩手(14)		群馬産及び岩手産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 出荷終盤を迎える千葉産の切り上がりが例年より早まっていることから、現在の価格は一時的に平均を上回っているものの、後続産地である群馬産及び岩手産の出荷が平年並みと見込まれることから、今後は平均並みで推移する見込み。	
		91.02	67 (74%)	81.66	67 (82%)	86 (105%)	1,319t (84%)				群馬(54)、長野(34)
	たまねぎ	85.93	77 (90%)	85.93	72 (84%)	64 (74%)	6,926t (136%)	兵庫(29)、佐賀(23)		兵庫産は、天候に恵まれて順調な生育であることから、引き続き平年を上回る出荷の見込み。佐賀産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 佐賀産の出荷が平年並みと見込まれるものの、兵庫産の出荷が平年を上回る見込みであることや、流通在庫があることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。	
		85.93	81 (94%)	85.93	78 (91%)	75 (87%)	1,869t (97%)				兵庫(76)
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	291.18	350 (120%)	291.18	332 (114%)	349 (120%)	1,419t (96%)	茨城(59)、千葉(15)		茨城産は、生育が前進した影響で残量が減少していることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。千葉産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 千葉産の出荷が平年並みと見込まれるものの、茨城産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
		334.20	258 (77%)	334.20	259 (77%)	246 (74%)	213t (96%)				香川(44)、徳島(19)
	はくさい	67.05	48 (72%)	67.05	59 (88%)	74 (110%)	2,748t (112%)	長野(87)		長野産は、朝晩の冷え込みにより生育が鈍化していることから、現在は平年を下回る出荷となっているものの、今後は気温の上昇とともに生育が回復することから、平年並みの出荷の見込み。 現在の価格は、平年を下回る出荷の影響で一時的に平均を上回っているが、今後、長野産の出荷が平年並みと見込まれることから、平均並みで推移する見込み。	
		74.06	79 (107%)	74.06	84 (113%)	77 (104%)	2,100t (112%)				長野(99)
	ほうれんそう	376.10	431 (115%)	376.10	416 (111%)	445 (118%)	661t (94%)	群馬(32)、栃木(27)		群馬産は、生育が前進した影響で残量が減少していることから、出荷量は引き続き平年を下回って推移する見込み。栃木産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 栃木産の出荷が平年並みと見込まれるものの、群馬産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回る見込み。	
		416.73	512 (123%)	416.73	505 (121%)	532 (128%)	276t (95%)				岐阜(76)
	レタス (結球)	156.23	136 (87%)	120.13	106 (88%)	94 (78%)	4,593t (92%)	長野(81)		長野産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 長野産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、平均並みで推移する見込み。	
		165.00	160 (97%)	125.61	117 (93%)	95 (76%)	1,764t (91%)				長野(98)
果菜類	きゅうり	199.33	238 (119%)	199.33	214 (107%)	245 (123%)	3,972t (81%)	福島(40)、岩手(15)		福島産及び岩手産は、梅雨入り後の曇天や気温の低下で生育が遅延していることから、現在は平年を下回る出荷となっているものの、今後は天候の回復により平年並みの出荷の見込み。 生育遅延による出荷量の減少により、現在価格は平均を上回っているが、今後は、福島産及び岩手産の出荷が平年並みと見込まれることから、平均並みで推移する見込み。	
		195.38	218 (112%)	195.38	209 (107%)	225 (115%)	1,402t (96%)				福島(29)、愛媛(22)
	トマト (大玉)	242.08	205 (85%)	242.08	207 (86%)	216 (89%)	4,945t (93%)	青森(16)、北海道(14)		青森産及び北海道産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 6月中旬から入荷量がやや減少して現在平均並みとなっている価格は、青森産及び北海道産の出荷が平年並みと見込まれることから、引き続き平均並みで推移する見込み。	
		239.96	211 (88%)	239.96	212 (88%)	216 (90%)	1,845t (101%)				北海道(36)、熊本(15)
	なす	311.92	369 (118%)	311.92	351 (113%)	376 (121%)	2,116t (86%)	群馬(40)、栃木(26)		群馬産は、梅雨入り後の曇天や気温の低下で生育が遅延していることに加え、一部に病害がでていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。栃木産は、梅雨入り後の曇天や気温の低下で生育が遅延していることから、現在は平年を下回る出荷となっているものの、今後は天候の回復により平年並みの出荷の見込み。 群馬産の出荷が平年を下回ると見込まれるものの、栃木産の出荷が今後は平年並みと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、平均に近づくものの、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
		271.01	332 (123%)	271.01	326 (120%)	332 (123%)	929t (85%)				山梨(23)、徳島(17)
	ピーマン	339.20	307 (91%)	290.48	308 (106%)	328 (113%)	1,185t (89%)	茨城(52)、岩手(29)		茨城産及び岩手産は、梅雨入り後の曇天や気温の低下で生育が遅延していることから、現在は平年を下回る出荷となっているものの、今後は天候の回復により平年並みの出荷の見込み。 6月から平均価格が下がる中で、現在平年を下回る出荷により現在平均を上回っている価格は、今後は茨城産及び岩手産の出荷が平年並みと見込まれることから、平均並みで推移する見込み。	
		311.41	218 (70%)	307.99	226 (73%)	258 (84%)	518t (97%)				大分(27)、青森(14)
	根菜類	だいこん	86.59	89 (103%)	86.59	85 (98%)	89 (103%)	1,632t (82%)	北海道(56)、青森(39)		北海道産及び青森産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 北海道産及び青森産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均並みの価格は、引き続き平均並みで推移する見込み。
			85.05	63 (74%)	85.05	79 (93%)	100 (118%)	821t (106%)			
		にんじん	156.99	93 (59%)	133.01	98 (74%)	93 (70%)	3,470t (96%)	青森(45)、北海道(30)、千葉(21)		青森産及び北海道産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、天候に恵まれて順調な生育であることから、引き続き平年を上回って推移する見込み。 青森産及び北海道産の出荷が平年並みと見込まれるものの、千葉産の出荷が平年を上回ると見込まれることや、流通在庫も多いことから、現在平均を下回る価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。
	140.94		71 (50%)	132.62	72 (54%)	74 (56%)	1,588t (107%)	青森(46)、北海道(30)			

注：1 平均価格は、過去6カ年(平成23～28年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格であり、農林水産省で公表している「野菜の生育状況及び価格見通し」における平均価格(平成25～29年)とは異なる。
2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成29年実績である。
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したものである。

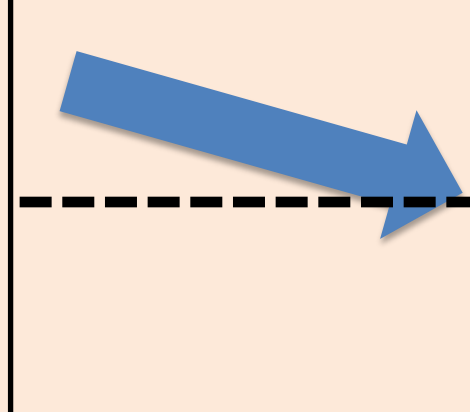
1 主要野菜の生産出荷状況

※・レポートの読み方については、注意書きを参照してください

種類	5月の価格情報		6月の価格情報			6月中旬の関東及び近畿ブロックの入荷量 ()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	7月の主産地	生育及び価格の7月上旬までの見通し	
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	旬別価格	旬別価格				
いも類	さといも	—	—	361.20	461 (128%)	493 (136%)	・25t (41%)	宮崎(44)、鹿児島(35)	 <p>宮崎産は、一部に病害がでていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。鹿児島産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。</p>
		—	—	347.90	524 (151%)	582 (167%)	・12t (64%)		
	ばれいしょ	145.31	95 (65%)	145.31	69 (47%)	67 (46%)	・4,130t (121%)	茨城(37)、千葉(23)	茨城産及び千葉産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 茨城産及び千葉産の出荷が平年並みと見込まれるものの、流通在庫が多いことから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。
		152.23	116 (76%)	152.23	94 (62%)	75 (49%)	・1,577t (125%)	長崎(43)、北海道(34)	

注：1 平均価格は、過去6カ年(平成23～28年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格であり、農林水産省で公表している「野菜の生育状況及び価格見通し」における平年価格(平成25～29年)とは異なる。
2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成29年実績である。
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したもの。

1 主要野菜の生産出荷状況(特定野菜)

種類	5月の価格情報		6月の価格情報			6月中旬の東京及び大阪市場の入荷量 ()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	7月の主産地	生育及び価格の7月上旬までの見通し	
	(参考) 過去5カ年平均価格	東京都・大阪市場の旬別価格	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	旬別価格	旬別価格				
洋菜類	ブロッコリー	335.48	355 (106%)	335.48	380 (113%)	446 (133%)	・1,013t (128%)	北海道(60)、長野(22)	 <p>北海道産は、一部の地域で雪解けが遅く定植が遅れたことから、現在は平年を下回る出荷となっているが、その後は順調な生育となっていることから、今後は平年並みの出荷の見込み。長野産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。</p>
		389.06	347 (89%)	389.06	347 (89%)	434 (112%)	・331t (122%)		

注：1 平均価格は、過去5カ年(平成25～29年)の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。
2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。
3 旬別価格の赤字及び青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は平均価格を80%を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成29年実績である。
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したもの。

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 斎藤、山田、長島 TEL03-3583-9793、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方は当機構のホームページのトップ画面、メルマガジンから登録してください。
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。
※無断転載禁ず ・レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。